

【テーマ】

○だんご虫の体のつくりを観察する。

【テーマの設定理由】

○身近な昆虫であるだんご虫の体のつくりについて知り、興味関心を深める。

【活動スケジュール】

○戸外で虫探しを楽しみ、自分たちで捕まえただんご虫を観察する。

【活動のために用意した素材や道具、環境の設定】

- 電子黒板 (ECMO カメラ含む)
- ペットボトルキャップ (だんご虫を1匹ずつ入れる)
- 椅子

【活動内容】

○ペットボトルキャップにだんご虫を1匹ずつ入れ、電子黒板に映しだして観察する。

【子どもの様子】

だんご虫を1匹ずつ映し出すと、すぐに気付いたことを言葉にしていた。だんご虫の体に黄色い斑点がある個体と真っ黒な個体があることに気付き、「なんで黄色いかな？」と保育士が問いかけると、「他の虫になにか絵の具みたいな汁をかけられちゃったんじゃない？」「成長の印なんじゃない？」「これが男の子と女の子の違いなんじゃない？」と思ったことを言葉にしていた。だんご虫がひっくり返るとお腹の色も異なっていることがわかり、「なんで同じだんご虫なのに色が違うんだらう？」と不思議そうにしている、「体の違いはやっぱり女の子と男の子の違いなんじゃない？」という声が多く上がった。ひっくり返ったことで足の本数を一緒に数えることができ、14本だということがわかった。同時に、だんご虫の体がまるまるために甲羅がいくつも分かれていることがわかり、その数にも注目していた。足の本数と同じで14個だということがわかると「えー！同じだ！」と感動している様子だった。体だけでなく、足や触覚にもいくつかの節に分かれています。足には黄緑色のふわふわしたなにかがついていることを発見した。お部屋に戻ってきてから、保育士と一緒に不思議に思ったことを図鑑やインターネットを使用して調べた。予想していた通り、体の違いが雄雌の違いであることをしると「やっぱり！」ととても嬉しそうにしていた。調べる時間を設けたことでだんご虫は雑食であることを知り、「おもしろいね〜！」「ご飯を色々用意して飼ってみたい！」など興味が広がっていて、人参、段ボールや葉っぱを入れてお部屋で飼育することになった。



【振り返り】

子ども達にとって身近な昆虫の一つであるだんご虫だが、複数の個体を観察したことで違いに気付くことができた。違いに気付いたことから新たな発見や不思議に思う気持ちが芽生え、知りたい！という気持ちを強く感じた。「なんでなんだろう？」「きっとこうだからじゃない？」と不思議に思うだけでなく、みんなで考えたり、友達の考えを知ったりすることで活動を深めることができたと思う。自分が気付いたことや不思議に思ったことをみんなに聞いてもらいたいという姿も多く見られ、その気持ちを受け止めてもらうことも探求心へと繋がっていくと感じ、自分の考えを言葉にするという経験も大切にしていきたい。また、活動の中で子ども達を感じた「なぜだろう？」という気持ちをそのままにすることなく、すぐに一緒に調べたことで「そうなんだ！」という喜びを味わうと共に、興味の広がりを感じた。子ども達と一緒にだんご虫の体のつくりや生態について調べる中で、だんご虫はエビやカニの仲間であることや、血液が青色であることがわかり、「青色のだんご虫、今度描こう！」と誘い合う姿が見られたため、次回はだんご虫の体を観察しながら描いてみるという活動に発展させていきたい。